

主催：全国疎開学童連絡協議会 協力：立教大学社会学部砂川ゼミ

Part3 戦後を戦前にしないために 大東亜戦争開戦の日に因む講演会

なぜ戦争は起こり、どのように行われたか？

戦後70年 100歳のジャーナリスト

むの たけじさんのメッセージ！

むのさんに、戦争はどのような国内状態で始まったか？始まった後はどうなったか。特に家庭生活、学童はどのような姿になったか？学重疎開地の実情について、新聞記者として知ったこと。戦争状態を再来させないために、私たちは何を成すべきかなどについて語っていただきます。



日時：2015年12月6日（日）

（受付開始13時30分）開会 午後2時～（4時30分）

会場：立教大学 池袋キャンパス内

資料代：500円（学生無料）

むのたけじさん略歴：秋田県生まれ。県立横手中学校（旧制）卒。東京外国語学校（旧制）卒。1940年朝日新聞社に入社、中国、東南アジア特派員となるが、敗戦を機に戦争責任を感じて退社。1948年秋田県で週刊新聞「たいまつ」を創刊、反戦の立場から言論活動を続けた。「たいまつ」は30年間続いたが1978年780号で休刊。100歳になった現在も現役のジャーナリストとして「戦争絶滅」を訴え続けている。2011年2月27日に放送された、NHKスペシャル『日本人はなぜ戦争へと向かったのか』シリーズ、第3回「“熱狂”はこうして作られた」に出演し、96歳で健在な姿を見せた。2011年8月14日NHK BSプレミアム放送の『100年インタビュー「96歳のジャーナリスト・むのたけじ」』でジャーナリストとしての思いを直言し、鋭く雄弁に語った。2012年、花巻市の「宮沢賢治学会 イーハトーブセンター」から第22回イーハトーブ賞を受賞した。

今年は、8月10日 NHKETV特集「むのたけじ 100歳の不屈 伝説のジャーナリスト 次世代への遺言」、8月12日 NHKラジオ深夜便「戦争と平和インタビュー」「今こそ叫ぶ 戦争は人類の大犯罪」に出演、自から体験した戦前・戦中の表現の自由、言論統制を振り返り、ジャーナリストの立場から平和の尊さを熱く述べた。

問い合わせは 090-1037-5957まで、お申し込みは11月30日（月）までに  
FAX 042-473-2688（事務局）またはEメールでお願いします。

E-mail: [info@gakudousokai.com](mailto:info@gakudousokai.com)

むのたけじさん講演会に参加します。

お名前： \_\_\_\_\_ TEL \_\_\_\_\_

ご住所： \_\_\_\_\_